

産婦人科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 沼津市立病院 第一産婦人科部長 辻井 篤

研修医のみなさん、はじめまして。このプログラムに関心を持ってくれてありがとうございます。このプログラムは静岡県東部地域の病院及び静岡市立清水病院（以下、病院群）の総力を結集して専門医を目指す研修医をサポートするものです。一つ一つの病院は中規模病院ですが、総力を結集することにより大病院に匹敵するか、それ以上の研修環境を実現します。複数の病院をローテーションすることで、同一疾患に対して様々な考え方を学ぶことができます。



また、若いうちから複数の環境で働くことでスタッフとのコミュニケーションの大切さを自覚し、単に診療するだけの医師ではなく、チーム医療においてリーダーとしてチームを牽引する医師を目指してほしいと思います。

病院実績や病院の特徴を確認することは大切ですが、実際に見たり聴いたりしないと分からないことが多いですね。ぜひ、私に連絡をとって話を聞きに来て下さい。

2 特徴

専門医申請のための症例数は十分に経験できます。周産期医療については、産科救急受入医療機関（伊東市民病院、富士宮市立病院）や地域周産期母子医療センター（沼津市立病院、富士市立中央病院）の役割を実際に経験することができ、総合周産期母子医療センター（静岡県立こども病院、順天堂大学医学部附属静岡病院）や地域のクリニックとの連携も十分に経験できます。

悪性腫瘍は最先端の静岡県立静岡がんセンターをはじめ、がん診療連携推進病院（沼津市立病院、静岡医療センター、富士市立中央病院、富士宮市立病院）、がん相談支援センター（伊東市民病院）で学ぶことができます。

生殖・内分泌医療は、特定不妊治療指定医療機関（聖隷沼津病院、沼津市立病院、富士市立中央病院）等で学ぶことができます。

良性腫瘍、女性のヘルスケアの分野に於いても各病院が特色のある医療を行っています。このように役割や立場が違う複数の医療機関での多角的な研修ができますので、産婦人科のあらゆる領域に柔軟に対応できる能力をもつ専門医を育成できることが、当プログラムの特徴です。

3 目的

- 1) “地域”と“ひと”を大切にする人間の育成
- 2) 産科婦人科の優秀な専門医の育成
- 3) 地域医療を“こころ”と“技”と“知識”で支える医師の育成
- 4) チームのリーダーとしてスタッフと協働し、マネジメントができる医師の育成

4 目標

- 1) 周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性のヘルスケアの4分野を適切なバランスで研修する。
- 2) 以下の必要症例数を経験する。
 - (1) 実地経験目録 分娩症例 100 例：帝王切開の執刀 10 例以上を含む
 - (2) 実地経験目録 手術症例 50 例：腹式単純子宮全摘術の執刀 5 例以上を含む
 - (3) 実地経験目録 子宮内容除去術 10 例：人工妊娠中絶・流産手術・診断のための全面掻爬術などの子宮内操作を行った症例を含む
 - (4) 症例記録：10 例

※ただし、これらは学会で規定された症例数であり、最低限の基準であることを認識して下さい。本プログラムではこれ以上の経験が可能です。

5 研修カリキュラム

産科婦人科学会『研修カリキュラム』に従う。

6 研修例

- 1) 原則として一つの病院での研修は1年間とするが、本人の希望を勘案し個別対応も可能。
- 2) 病院の組み合わせ（ローテーション）は希望に応じて柔軟に対応します。

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	〇〇病院											

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	△△病院						□□病院					

3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	□□病院						〇〇病院					

4年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	〇〇病院				試験	○病院	発表	◇◇病院				

7 研修病院群

1) 研修施設

伊東市民病院、聖隷沼津病院、富士市立中央病院、富士宮市立病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、沼津市立病院、静岡市立清水病院

2) その他

静岡県立静岡がんセンター

8 研修期間

3～4年間